



令和7年度PDCAサイクル(糖尿病ケアチーム)



P



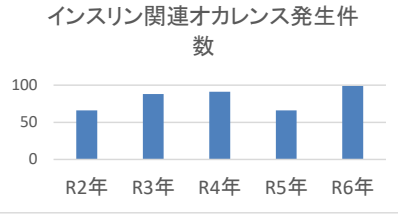
【背景】

- ・インスリン関連オカレンスは過去5年、年間約82件のペースで発生し、令和6年度は、電子カルテシステム更新もあり、年間99件へ増加している。
- ・インスリンはハイリスク薬であり、オカレンス発生による有害事象(低血糖・高血糖で)処置を要する事例も見られている。令和6年度に発生したレベル3a以上のオカレンス12件のうち、令和6年4～12月は6件、令和7年1～3月も6件で、重大なオカレンスの発生率は増加している。患者へ安全で質の高い医療を提供するために、オカレンスの詳細を分析し、削減のための対策を関連部署で共有することが喫緊の課題であると考えた。

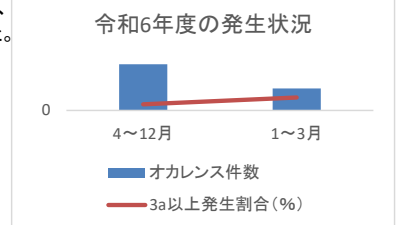
【目標】

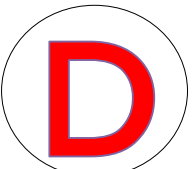
インスリン関連オカレンスレベル3a以上の発生:10件以下

インスリン関連オカレンス発生件数




令和6年度の発生状況





D



○マニュアル改訂

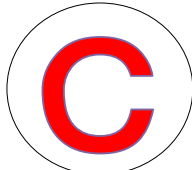
- ・2025年1月から変更になった「血糖・糖尿病注射薬指示」のシステムについて、インスリンワーキンググループ内で協議し、当院の実情に即したマニュアルへと改訂。4月に院内へ発信。

○オカレンス分析


- ・令和6年度分:特に1月以降のオカレンスの傾向について、データの分析
- ・令和7年度分:医療安全担当者会前後(4～7月/8～11月/12～2月)でのオカレンスの推移や傾向について確認
- ・レベル3a以上のオカレンスの詳細分析

○医療安全担当者会を通じた取り組み

- ・7月:令和6年度のオカレンスの分析から傾向を共有。グループワークを行い、業務に即した対策を検討
- ・インスリンの基礎知識についての伝達講習
- ・各部署で困っていることを確認。医師の協力が必要な内容(指示に関すること)については、近隣医師より医局幹事会を通じて周知
- ・11月:担当者会以降(4～7月/8～10月)のデータの提示。レベル3a以上のオカレンス詳細について、対策とともに共有。困っていることへのQ&Aの伝達
- ・3月:年間でのオカレンス数推移について報告。11月以降発生したレベル3a以上のオカレンス詳細共有



C



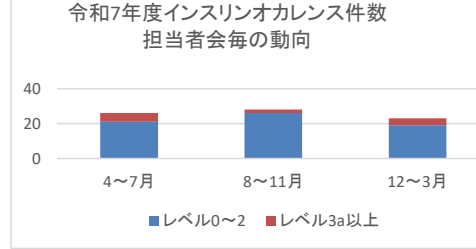
○インスリン関連オカレンスレベル3a以上:11件(2025年4月～2026年3月)

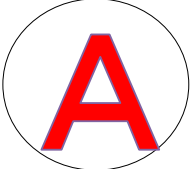
目標値10件以下を達成できなかった

○令和7年度インスリンオカレンスの年間発生件数は77件と全体数は減少(前年度比-22件)


○医療安全担当者会での伝達前、伝達1回目以降、伝達2回目以降の期間に区切った動向では、レベル3a以上のオカレンス件数は減少が伴わないが、総数は2回目伝達以降で減少しており、一定の効果は得られたと考える。

令和7年度インスリンオカレンス件数
担当者会毎の動向





A



○チーム内でオカレンスの情報共有を行い対策を検討

○対策によって、職種で統一を行う必要がある事柄は周知を行う

- ・医師:指示システムに関連するものについて、医局幹事会で対策の周知

○医療安全担当者会で年1回以上共有の機会を設け、各部署看護師への周知を行う